

# ワクチン接種の運用方針について

## 1. ワクチン接種回数の運用方法について

新型インフルエンザワクチンの接種回数については、当面2回接種の方針に基づき接種体制の整備を進め、あわせて国内の臨床研究や海外の状況等についての情報収集を進めることとし、適宜、1回接種の有効性について専門家による評価を行い、必要に応じて事業計画の見直しを行うことを想定している。

その際、2回接種の方法としては、以下の2通りの考え方がある。

- ① 優先順位の高い者から2回ずつ接種する
- ② 優先接種対象者にまず1回ずつ接種し、その後、優先接種の高い者の2回目を接種する。

## 2. ワクチン接種回数の運用方法について

### ① 優先順位の高い者から2回ずつ接種する場合

<メリット>

- 優先順位の高い者に、確実に早期に免疫をつけることができる

<課題>

- 優先順位の低いグループへの接種が遅れる（1ヶ月程度）

### ② 優先接種対象者にまず1回ずつ接種する場合

<メリット>

- 優先接種対象者全体に対し一定の免疫をつけることができ、安心感を与えることができる
- 仮に1回接種への方針変更があった場合、対応が容易である

<課題>

- 国内外の知見が得られるまで、1回接種の効果が不確実
- 優先順位が高い者への1回目の接種と2回目の接種の間隔が大きく開く（最大約3ヶ月）